

令和7年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第3学年児童生徒を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができています。
- 資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができています。
- 言葉の特徴や使い方において、文脈に即して漢字を正しく読んだり使ったりすることについての理解に課題がある。

【数 学】

- 式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができています。
- 事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができています。
- 変化の割合を基に、 x の増加量に対する y の増加量を求めることに課題がある。

【理 科】

- 元素を記号で表すことに関する知識及び技能が身に付いている。
- 科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現できている。
- 水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物について、生命を維持する働きに関する理解に課題がある。

2 生徒質問紙に関する結果の概要

- これまでの生活の中で、自然のなかで遊ぶことや自然観察などの体験をできている生徒が多い。
- 先生は自分の良いところを認めてくれているという質問に、肯定的に答えた生徒の割合が多い。
- 困りごとや不安を、先生や学校にいる大人にいつでも相談できると答えた生徒の割合が低い。
- 学校の授業時間を除き、毎日一時間以上勉強していると答えた生徒の割合が低い。

3 評価と今後の取組

(1) 教科に関する取組

① 効果があつた取組

- ・ 7時間目における習熟度別学習などの、各教科の定着が不十分だった内容の重点指導
- ・ 授業アンケートをもとにした授業改善の推進

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ ラクガクノートによる家庭学習習慣の定着化
- ・ 教科の特性に応じ、ICT機器を効果的に利活用した言語活動の推進

(2) 生徒質問紙の内容に関する取組

① 効果があつた取組

- ・ 教育相談における教師と生徒の信頼関係の構築
- ・ 総合的な学習の時間におけるICT機器を活用したスライド作成、発表

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ 学習内容と実生活との関連を考察する機会を設定